

果樹 6月上旬の巡回調査結果の概要について

【東北信】 巡回日：6月9、10、11日

1 りんご（東信3ほ場、北信8ほ場）

- (1) 赤星病の発生はみられなかった。
- (2) 黒星病の発生はみられなかった。
- (3) アブラムシ類は、東信地域2ほ場、北信地域7ほ場で寄生がみられた。寄生新梢率は6.7～56.7%であった。
- (4) リンゴハダニおよびナミハダニの寄生はみられなかった。
またリンゴサビダニも、寄生はみられなかった。

2 ぶどう（東信1ほ場、北信5ほ場）

- (1) うどんこ病、べと病、灰色かび病、黒とう病の発生はみられなかった。
- (2) チャノキイロアザミウマの被害葉はみられなかった。

3 もも（東信2ほ場、北信4ほ場）

- (1) せん孔細菌病の葉への発病は、東信2ほ場、北信3圃場でみられた。発病葉率は0.1～2.0%であった。
- (2) モモハモグリガの被害葉はみられなかった。
- (3) ハダニ類の寄生はみられなかった。
- (4) アブラムシ類は、東信2ほ場、北信2ほ場で寄生がみられ、寄生新梢率は3.3～20.0%であった。
- (5) カメムシ類の被害果はみられなかった。
- (6) クビアカツヤカミキリの寄生はみられなかった。
- (7) モモヒメヨコバイの寄生はみられなかった。

4 うめ（東信1ほ場、北信1ほ場）

- (1) アブラムシ類の寄生はみられなかった。
- (2) クビアカツヤカミキリの寄生はみられなかった。
- (3) モモヒメヨコバイの寄生はみられなかった。



図1 ももに発生したアブラムシ(東信)

【中南信】 巡回日：6月2、4、5日

1 りんご（南信5ほ場、中信6ほ場）

- (1) 赤星病の発生はみられなかった。
- (2) 黒星病の発生はみられなかった。
- (3) アブラムシ類は、南信地域1ほ場、中信地域3ほ場で寄生がみられた。新梢寄生率は3.3~90.0%で、優占種はユキヤナギアブラムシ等であった。
- (4) リンゴハダニ、ナミハダニ、リンゴサビダニの寄生はみられなかった。

2 なし（南信9ほ場）

- (1) リンゴハダニ、ナミハダニの寄生はみられなかった。

3 ぶどう（中信5ほ場）

- (1) うどんこ病、べと病、灰色かび病、黒とう病の発生はみられなかった。
- (2) チャノキイロアザミウマの被害葉はみられなかった。

4 もも（南信1ほ場、中信2ほ場）

- (1) せん孔細菌病の発病葉はみられなかった。
- (2) モモハモグリガの被害葉はみられなかった。
- (3) ハダニ類の寄生はみられなかった。
- (4) アブラムシ類の寄生はみられなかった。
- (5) カメムシ類の被害果はみられなかった。
- (6) クビアカツヤカミキリの寄生はみられなかった。
- (7) モモヒメヨコバイの寄生はみられなかった。

5 かき（南信3ほ場）

- (1) うどんこ病の発生はみられなかった。
- (2) 円星落葉病の発生はみられなかった。
- (3) カキクタアザミウマ、ハマキムシ類、フジコナカイガラムシの被害果はみられなかった。

6 うめ（南信2ほ場）

- (1) かいよう病の発病枝はみられなかった。
発病果が、南信の1ほ場でみられた。発病果率は0.6%であった。
- (2) クビアカツヤカミキリの寄生はみられなかった。
- (3) モモヒメヨコバイの寄生はみられなかった。

【侵入警戒調査（果樹）】

- (1) りんご、なしの調査ほ場において、火傷病、コドリングアの発生はみられなかった。
- (2) もも、うめの調査ほ場において、ウメ輪紋ウイルスの発生はみられなかった。